

# 「脱使い捨てプラ」実践 学校に水サーバー



「脱使い捨てプラスチック委員会」の中心メンバーと2年生学年主任の落葉(おちば)典雄(のりたけ)教諭。いずれも奈良市東紀寺町1丁目

## 奈良女子大付属中 生徒の「提案」受け

奈良女子大付属中等教育学校の2年生の有志37人が「脱使い捨てプラスチック委員会」を結成。ペットボトル使用量を減らそうと、

ウォーターサーバーの設置を学校に提案した。学校側は9月下旬に2年生の教室前に試験設置した。2年生は昨年、「道徳」

の授業で海洋プラスチックが環境や人体、動物に悪影響を与えることを学んだ。有志で自主活動団体「脱使い捨てプラスチック委員会」をつくり、今年1月から校内で活動をはじめた。委員会は一定数の生徒が校内の自動販売機でペットボトル飲料を買って、持ってきた水筒に補充していることに着目した。2年生全員にアンケートをしたとこ



設置されたウォーターサーバー

ろ、1人あたり1週間に平均1・2本のペットボトルを使っていた。

学校全体(全校生徒720人)に換算すると、ペットボトル使用量は1週間に約864本、1カ月約3450本、1年で約4万1千本に上ると推計した。

他校をリサーチした結果やウォーターサーバーの製

品の比較をまとめ、学校側への「提案書」をつくった。学年全体への説明会や副校長への交渉などを経て、9月下旬から2年生の教室前に試験的に設置されることになった。

生徒からは「冷たくておいしい」と好評だという。中心メンバーの芝崎ももさんと高橋侑里さんは「マイ

ボトルを普及させて、脱プラスチックの意識を全校に広めたい」と語る。委員長の小坂井希実さんは「委員会の活動は自分たちだけで終わらせたくないで、みんなに問題を知ってもらって、考えてもらってような活動をしていきたい」と話している。

(竹中美貴)

# 奈良